



地球を守り、人類を高揚させる

スワミ・イーシュワラーナンダ

「 templeの中にいなさい」のサツァング

欧州およびロシアへのライブ動画配信

シッダ・ヨーガ・ユニバーサルホール

2020 年4月 22 日水曜日

ナマステー！ ビャンブニュ！ ウエルコメン！ ビエンベニーダ！ チャオ！ ダブロ・パジャロー
バット！

この「 templeの中にいなさい」のサツァングのライブ動画配信で、シッダ・ヨーガ・ユニバー
サルホールでお話できることを大変嬉しく思います。

ご存じの通り、私はシッダ・ヨーガの僧です。私はまた、シッダ・ヨーガ瞑想ティーチャーです。
私は、グルマリーが欧州やその他多くの国々に教えの旅を行った際に、共に旅する素晴らしい
幸運を得ました。グルマリーの要請によって、私はそれ以外の機会にも、世界各地をシッ
ダ・ヨーガの教えを広めるために旅しました。私は旅の間に、何百、何千という驚くべき人々…
探し求めている人々に会いました。

今日、このシッダ・ヨーガ・ユニバーサルホールで皆さんという驚くべき人々と共にいて、私の心は本当に幸せです。私は、何十年もシッダ・ヨーガの道に従ってきたシッダ・ヨーギである皆さんにお話しすることを、とても嬉しく思います。また、多くの新しい探究者の人々も「テンプルの中にいなさい」のサツァングに参加していると知ることは、私に素晴らしい喜びを与えています。

皆さんが既に知っていることをお話ししたいと思います——それは、グルマリーは私に、今日4月22日のアースデーを祝って、ユニバーサルホールで特別に欧州の北部、東部、西部の皆さんに向けて話すよう要請したことです。この場を借りて、今日、サツァングに代表として参加している国々についてお伝えしたいと思います。

欧州西部のシッダ・ヨーギが参加しています。英国、フランス、イタリア、オランダ、スペイン、ドイツ、オーストリア、アイルランド、そしてベルギーです。また欧州北部からは、デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、フィンランドです。そして欧州東部からは、ポーランド、ロシア、リトアニア、ハンガリー、スロベニアです。他にも幾つかの国が参加していると思いますが、時間を尊重して、こう言うにとどめておきます。「あなたは自分が誰だか知っていますね」

毎回の「テンプルの中にいなさい」のサツァングは、壮麗な2020年のグルマリーのメッセージ・アートワークのイメージで始まります。ですから、このサツァングの始まりに、あなたはメッセージ・アートワークに目を向け、それによって、このアートワークの学びへと深く入ることができました。

その後、春のシュリー・ムクターナダ・アーシュラムの敷地内の美しい自然の光景を受け取りました。恐らく、シュリー・ムクターナダ・アーシュラムと皆さんの国は、気候が似ているのではないかと思います。皆さんがシュリー・ムクターナダ・アーシュラムの自然の光景を見ていると、

「ああ、分かる。ああ、これも分かる」と感じたに違いありません。すっかり自分の国にいるように感じたに違いありません。

それはそれとして、最近のシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの天気のパターンは、とても変化に富んでいることをお伝えすべきです。私たちはこの数週間の中に、頭上の輝く太陽の中のスーリヤ・デーヴァターの存在に、強大な風の姿のシュリー・ハヌマーンに、空をうねる厚く暗い雨雲のマハーカーリーとクリシュナ神に、そしてほんの数日前、アーシュラムの敷地を覆った7インチ(約20センチメートル)あまりの雪としてのシヴァ神に迎えられ、祝福されてきました。

それはまるで私たちがロックダウン(都市封鎖)のさなかに、あらゆる神々が出てきて楽しんでいるかのようでした！

ロックダウンと外出自粛について話すと、「家にいなさい、安全にいなさい」をあなたのモットーにしてみましたか？ それをしっかりと受け止めることができましたか？ それとも難しく感じましたか？

グルマーイはイースターサンデーの講話の中で次のように言いました。「それは、とても、とても狂った世界です。私たちが生きているのは、とても、とても荒れた世界なのです」

私は、どのように各国が COVID-19 について対処しているか、協調しているか、取り扱い、管理しているかについてのニュースを常に見てきました。私は、幾つかの国々が取った行動に感心しています——特に、ロックダウンを直ちに決断した国々に。彼らの積極的な決断によって、そしてそれらの国の人々がリーダーの言葉を聞き入れる準備ができていたことによって、人々は職場や学校に徐々に戻ることができています。

もちろん、ソーシャル・ディスタンシング(物理的距離の確保)を守り続け、マスクを着ける、丁寧に手を洗うなど、あらゆる予防措置が取られています。迅速な決断と行動の成果を楽しみ、その成果によって多くの人たちが生活の自由を体験できているすべての国々、おめでとうございます。



最初に私は、いかにグルマーイの要請でこの特別な「テンプルの中になさい」のサツツアングが、アースデーを祝って欧州の国々にライブ動画配信されているかについて触れました。

恐らく皆さんは、世界がどのようにアースデーを祝うに至ったかを知っていると思いますが、今一度その幾つかの事実をお伝えしたいと思います。アースデーは、全世界で毎年4月22日に祝われ、それは、私たち皆を持続させるこの美しい惑星——母なる地球——をたたえ、守ることにささげられている日です。最初のアースデーは、50年前の1970年4月22日に米国で祝われました。30年前の1990年には、この世界のすべての国々が祝う国際的なイベントになりました。

私は、環境保護に努めている人々に対して感謝の念に堪えません。彼らの献身的で勤勉な努力によって、私たちはより良い世界——満たされた人生、目的のある人生を送ることができる世界——を得ているのです。米国に拠点のある植樹祭財団によると、平均的な樹木が季節ごとに生成する酸素は、10人の人が呼吸する1年分に当たるといいます。

今現在、人類は計り知れない苦難——100年に一度の苦難——に遭遇していても、水や山や海辺の姿はどんどん清らかになって、その本来の清浄な姿に戻りつつあるということに気づかされています。私たちの心は痛んでいても、私たちの母なる地球のこの驚異的な変容に感謝をささげること、私たちは注意を向けねばなりません。

それら驚くべき変容を踏まえて、グルマールは SYDA ファウンデーションのウェブサイト部門の責任者であるサンディープ・クネーゼルに、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトにも自然の写真を送ることができる旨を、皆さんに伝えるよう要請しました。先日、サンディープはグルマールに、一晩で何百もの自然の写真がウェブサイトにも送られてきたことを伝えました。私はこの場を借りて、皆さんの惜しみない参加に感謝したいと思います。

グルマールは、皆さんが即座に応えたことにいたく感心していました。グルマールは、「とても感動しました。この人たちが大好きです。皆さん、本当にありがとうございます」と言いました。

4月 20 日の月曜日の夜、サンディープは、皆さんが撮影した素晴らしい自然の写真がシッダ・ヨーガの道のウェブサイトの、グルマールの付けたタイトル「Glimpses of Nature（自然を垣間見る）」の中に、確実に掲載されるようにしました。あなたがその一つ一つの写真をグローバル・シッダ・ヨーガ・サンガムの友人の一人からの贈り物として見てくれたか、あるいは見てくれることを願います。それぞれの写真は、シッダ・ヨーガがこの世界をどのように見て、どのようにその美しさを受け入れ、この惑星の恵みに敬意を払っているかについての洞察を与えてくれます。

さて、現在の世界のニュースに戻ります。ニュースメディアによって報道されているものを読むにつけ、この世界全体にはこんなにも困難や不確かさがあるという厳しい現実を突き付けられます。多くの専門家たちは、回復期間は長くなる、恐らく何年もかかるだろうと予想しています。経験豊富なシッダ・ヨーガの一人として、私は自分自身に問いかけます。

「この全く普通ではない時に、私は自分の精神状態をどのように守れるだろうか、また、他者の支援をどのようにできるだろうか」

「私はどのようにシッダ・ヨーガの修行を続け、シッダ・ヨーガの教えにしっかりと従うよう人々を鼓舞すればいいのだろうか」

「私はどのように 2020 年の『スウィート・サプライズ(嬉しい驚き)』からのグルマリーの言葉を実行し、そして、私の意図や願い、ビジョン、夢、そして祈りを決め、それに基づいて行動すればいいのだろうか」

「世界が根底から覆されてしまった今、私はどのように私の一番の願望をかなえればいいのか」

これらを自分自身に問い掛ける時、それは私の心構え、私の振る舞い、私の物事への取り組み方の問題です。いかに自分の責務を果たし、私にとって最も大切なこと——シッダ・ヨーガの道、そしてグルマリーと彼女の使命に奉仕すること——を敬い、また忠実であり続けるか、ということです。さらに何があったと思いますか？ 私は、この地球に住む多くの人が思慮深く、寛大で、また、グルマリーが毎日実践するようにと求めた神聖な美德、サッドグナ・ヴァイバーヴァを保持していることに気づき、元気づけられたのです。

この世界に住む人々の素晴らしい才能、創造力、寛大さに嬉しい驚きを感じると、グルマリーはいつも言っています。実際、つい先日も、「テンプルの中にいなさい」のマネジングディレクターであるローヒニー・メノンにグルマリーはある事例を話し、それをローヒニーは私に話してくれました。

その事例はスイスのものです。1カ月近くの間毎晩、光を使うアーティストが、アルプスの有名な山であるマッターホルンに、さまざまな国旗の色の光を投影してきました。4月 18 日の土曜日には、そのアーティストはマッターホルンに、オレンジ色、緑、白というインドの国旗の三色を投影しました。

さらに何があったと思いますか？ マッターホルンの斜面に座るグルマリーの写真を皆さんの多くが見たに違いありません。

シッダ・ヨーガの道のウェブサイトのコンテンツのセーヴァーをささげているイーシャ・サーデサイによると、インドの国旗の色でマッターホルンが飾られた同じ日、インドのシッダ・ヨーギたちとの「テンプルの中にいなさい」のサツァングでのグルマリーの教えが、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトに掲載されました。さらに何があったと思いますか？ このサツァングでの教えに添えるデザインをインドの国旗の3色にするようにという具体的な指示は、グルマリーが与えていたのです。ですから、その3色がシッダ・ヨーガの道のウェブサイトに現れると同時に、スイスアルプスにも、素晴らしい壮観で掲げられたのです。

ここで、グルマリーとの「テンプルの中にいなさい」のサツァングの一つに参加した、フランス、マルランバルに住むシッダ・ヨーギが共有してくれた話を読みたいと思います。この話はシッダ・ヨーガの道のウェブサイトに掲載されています。そのシッダ・ヨーギは次のように書いています。

自分の考えや自分の感情に私は責任を持っているとグルマリーに気づかされたのは、とても素晴らしいことでした。ここフランスでの隔離の時に、何年にもわたって参加してきたシッダ・ヨーガのリトリートやコースも、セーヴァーや瞑想などの精神的な修行も、いかに私に、一点に集中すること、感情を受け入れてそれらを熟考すること、そして、すべては過ぎゆくものだとして理解することを教えてきたかが分かります。サーダナーの価値、シッダ・ヨーガの教えがよりはっきり分かるのは、困難にある時なのです。

この人が語っているシッダ・ヨーガのリトリートやコースでは、シッダ・ヨーギたちはシッダ・ヨーガの瞑想を実践することに焦点を当て、神聖な美德や、その年のグルマリーのメッセージからの

さまざまなテーマを学びました。私はこの人の話を読んで、欧州の各地でグルマリーが行った多くの素晴らしいシッダ・ヨーガの教えの旅やリトリートのことを思い出しました。そして、そのようなシッダ・ヨーガの教えの旅やイベントを支えるために、長年にわたり私と一緒にセーヴァーをささげた多くの皆さんのことも覚えています。

多くの顔が思い浮かびます。

スイスのハンスエリ・ラムセイア、
ロンドンのヴァーマン・グレイグとアニー・グレイグ、
そしてラクシュミー・ザロード・ホール、
当時はオランダ、今は英国にいるヤンハルム・マウスターズと
シンダ・マウスターズ、
スロベニアのマーヤ・セラジ、
ドイツのカールハインツ・ゲルハルトとユットウ・ゲルハルト、
イタリアのクリスティーナ・ボーンバ、スワスティマティ・ブリアンツァ、
レオナルド・ルツォ、サロージ・デル・ドゥーカ、
オーストリアのゴーヴィンダ・シュウォルツとアンディーン・デーリッシュ、
スペインのミゲル・ペナルバとマリア・ペナルバ、
当時はポーランド、今は英国にいるユージーン・ビピアルと
パヴィトウリー・ビピアル、
デンマークのウィニー・モルスガードとアイキル・モルスガード、
フランスのルドラ・シャープ、カディジャ・ラグラニ・シャープ、
ロシアのマーク・カールプとリディア・カールプ。

時間の制約があるため、もちろん幾つかの名前しか言及していません。ですから、このことを知っていてください。もしあなたがグルマーイの教えの旅で私と一緒にセーヴァーをささげたことを覚えているのなら、私もあなたのことを覚えています。

約 25 年もの間、グルマーイは、サツァング、リトリート、シャクティパート・インデンシヴを欧州の各地——例えば、ロンドン、パリ、ブリュッセル、ローマ、モントルー、ハイデルベルク、シッチェス、ウッチ——で開いてきました。それらの旅の間に、グルマーイはたくさんのコミュニティーを訪れました。それぞれの訪問で、グルマーイは、セーヴァーをささげる主要な人たちと会い、「共に働く」ように彼らをいつも励ましていたのを覚えています。

これは常にグルマーイの極めて重要な原則です。

私たちが共に働く時、

お互いに意見が一致しているかどうか、

お互いに争っているかどうか、

お互いに好ましいと思っているかどうか、

お互いに問題を持っているかどうか、

そのすべてにこだわらず、私たちが共に一つのゴールへと向かう時、それはグルの心を大いに喜ばせます。

私は欧州の東部と西部のシッダ・ヨーギたちが成した、すべての多大な努力に感謝したいと思います。皆さんは長い間毎年、欧州のリトリートを開催し、そして 1995 年から 1996 年の欧州でのマハーヤートラの準備をしました。今日のための話の準備をしていた時、そうか分かった、という瞬間がありました。これはグルマリーのマハーヤートラの 25 周年を祝っているのだということでした。そうです！ グルマリーのマハーヤートラの 25 周年記念です。ありがとうございます、グルマリー、そして皆さん、ありがとうございます。

マハーヤートラは、1995 年と 1996 年に行われたグルマリーの壮大なシッダ・ヨーガの瞑想ツアーで、7カ月間に及び、北米や欧州全体で教えのために多くの地を訪れました。グランドフィナーレは英国のロンドンにあるウェンブリーホールからのグローバル・サテライト・シャクティパート・インテンシヴで、タイトルは「情熱に満たされ、神の栄光を謳いなさい」でした。その教えは 1996 年のグルマリーのメッセージです。

グルマリーは、マハーヤートラを「百万の心のツアー」と呼びました。多くの心——文字通り何万もの心——が動かされ、目覚めたからです。私は 25 年前のマハーヤートラの7人のマネジャーの一人として務めたので、それをとてもよく覚えています。私はまた、教えの旅のマネジャーの一人でもあったので、旅のすべてを整えることがどれほど多くの仕事であったかを覚えています。マハーヤートラは 1995 年7月に、10 月初めに始めると発表されました。そのため、それからの2カ月間で、ツアーマネジャーたちはイベントの会場と人々が滞在するためのホテルの予約をし、映像と音響の機器をトラックや飛行機で発送し、世界中からそれぞれの教えの旅を支える何百人ものシッダ・ヨーギを見つけました。

それぞれの地で私たちは、利用できたどのような会場——例えば会議場など——をも、シッダ・ヨーガのサツァングホールに変容させる必要がありました。私たちは隅々まで掃除をし、カーペットを敷き、椅子を準備し、照明と音響機器を設置し、背景を作りました。私たちはまた、皆さんのために料理をし、会場までの往復の送迎を提供しました。教えの旅が完了すると、会

場の退出時間に間に合わせるために、すべてを直ちに片付けなければなりませんでした。私たちはすべての荷物物をトラックに詰め込み、次の訪問地へと移動しました。そして別の国で再び始めました。すべての会場で、私たちが到着した時よりもさらにきれいに掃除をして退出したことを付け加えます。

それは輝かしい時であり、マハーヤートラでグルマリーと共に世界中を旅し、彼女の愛と恩恵と教えを広めた時でした。そして、それら恩恵に満たされた何年も前に皆さんがささげた、あらゆるセーヴァーの見事な果実を見てください。今、「 templeの中にいなさい」のサツツァングのライブ動画配信のマネジングディレクターであるローヒニー・メノン は、これらのサツツァングを開く手助けをしている彼女のすべての同僚に、自分たちはグルマリーと一緒にツアーをしているのだと言っています。

これを聞いた時、私は思いました。「なんて素晴らしい！」

今では、あなたはまさに今いる所で、このツアーに参加できます。混み合った飛行機に乗ったり、バスに乗るために走ったり、国を横断して車を運転したり、または何カ月も前に休暇を取ったりしなくても、参加できるのです。コンピューターやその他のたくさんのモバイル機器の一つのボタンをクリックすれば、私たちはシッダ・ヨーガ・ユニバーサルホールに集まり、「 templeの中にいなさい」のサツツァングに参加することができるのです。

皆さんと共有したい、マハーヤートラについての裏話があります。1995 年 12 月、マハーヤートラはツアーの途中で、カリフォルニア州パームスプリングスでの冬のリトリートの真っ最中でした。何千人もの人々が参加していました。ある日、そのリトリートのさなか、グルマリーはツアーマネジャーたちとの会議を開き、私たちの旅程にポーランドを付け加えるべきだと、私たち全員に知らせました。

グルマリーがそう言うのを聞いた後、私たちはマネジャーの会議室に戻り、信じられないという顔でお互いを見合いました。一体どうやってこれを可能にできるのかと考え込みました。ツアーは既に進行中であり、新たな立ち寄り先を追加するためには膨大な量の計画が必要になるでしょう。最初に沈黙を破ったのが誰かは分かりませんが、ある時点で会議にいた全員——SYDA ファウンデーションのツアーマネジャーたち——は、あるアイデアを思い付きました。その素晴らしいアイデアとは、欧州のシッダ・ヨーガのリーダーたちを呼んでグルマリーのひらめきあふれる要請を分かち合い、そこから始めようというものでした。

大きな興奮と共に、欧州の人々との協議にその要請を提出しました。私たちは非常に驚かされました。欧州のリーダーたちから響き渡る「はい！」が来たのです。「実現できます」と、彼らは言いました。欧州のシッダ・ヨーガのリーダーたちから聞いた反応と、彼らがポーランドでの立ち寄りを手配するととても独創的な計画を思い付いたことに、私たちは感動しました。彼らはそれを実現させました。彼らはグルマリーの使命を果たしました。このことで、私たちは皆さんすべてに永遠に感謝しています。これがシッダ・ヨーガのサンガムの力です。もしある人がそれができなくても、それをできる他の人がいます。それは私たちすべてをまとめます。私たちは共に恩恵を体験し、恩恵の果実をすべての人と共有することができます。

マハーヤートラで私自身が初めて聞いた、シッダ・ヨーガの歴史の逸話を皆さんに伝えたいと思います。1960年代のことですが、ポーランドから少数の探究者たちが、バーバ・ムクターナンダのダルシャンを受けるために、そしてアーシュラムでの精神的な生活をするために、グルデーヴ・シッダ・ピートゥを訪れました。彼らはとても真剣なサーダカでした。滞在が終わる時、彼らはバーバの教えと指導を受け、そのような神聖な生活を送ったことで、満足を感じていました。そのため、彼らはグルデーヴ・シッダ・ピートゥを去る前に、バーバ・ムクターナンダをポーランドに招待しました。バーバは、ポーランドのすべての人々が彼らのようなら本当に行かなければならないと、彼らに話しました。

欧州のシッダ・ヨーガのリーダーたちと彼らの独創的な計画の話に戻ります。彼らがしたことは、欧州南部の国々のシッダ・ヨーギたちには既に予定されていたスペインのシッチェスでのリトリートを支えるように、その一方で、欧州北部の国々のシッダ・ヨーギたちにはポーランドのリトリートの支援をするようにと、連絡することでした。このようにしてポーランドは旅程に加えられ、30年前のポーランドを訪れるという約束が守られ、実現したのです。

そしてリトリートそのものが、奇跡以外の何ものでもありませんでした。私は「奇跡」という言葉を最大限に誠実に使っています。それは本当にそうだったからです。グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダとのシッダ・ヨーガのリトリートの最中と後には、人々の人生に奇跡の物語が次から次へと生まれました。今日はハイライトを伝えているだけですが、マハーヤートラには本当に多くのハイライトがありました。

もう一つのハイライトは、教えの旅に参加したロシアのシッダ・ヨーギたちでした。私は、ロシアから来た皆さんが、ポーランドのウッチのオペラホールで開催されたシッダ・ヨーガのリトリートに到着した瞬間を覚えています。100人以上の人が、このグルマーイとのリトリートに参加するために、電車とバスで3日3晩かけて旅してきました。あなたたちが朝の「シュリー・グル・ギーター」の朗唱がちょうど終わった時にサツァングのホールに到着し、グルマーイのダルシャンのために歩み寄った時のしびれるような瞬間を、私ははっきりと思い出します。

そんなにとっても長い距離を旅して来たのに、あなたたちは疲れた気配も見せず、私は驚きました。あなたたちは一晩中旅をして来たのに、朝露と同じくらい新鮮でした。グルマーイの前で初めてプラナムをささげた時、とても多くの愛と驚嘆の念がありました。あなたたちの心からあふれる献身と謙虚の姿勢は比類のないものでした。それは今でも私の心に刻まれています。窓から差し込む太陽の光の輝きの中で、あなたたちの美しい顔に輝く涙を見ることができました。弟子とグルの間のこの愛を目撃することに立ち会った私たちもまた、たくさんの涙を流しました。

あなたたちは、これらを献身の涙、「ついに会った」という涙、感謝の涙、そして、その祝福された瞬間にポーランドとロシアの間に起こっている許しの涙と言うかもしれません。その浄化の瞬間を、私は決して忘れません。グルの恩恵が、いかに私たちを一つにしてくれることか。時間を守るために、次から次へと話を続けることはしません。私は幾らでも続けられますが。

ああ、マハーヤートラ。ありがとうございます、グルマリー。100 万回以上、ありがとうございます。

皆さんありがとうございます。心の底からありがとうございます。

そうです、私たちは、シッダ・ヨーガのサーダナーが私たちをここに連れて来ているという気づきと共に、このシッダ・ヨーガ・ユニバーサルホールでの「テンプルの中にいなさい」のサツツァングのために、輝くバガヴァーン・ニッテャーナンドの前で、私たちの記憶の道を歩いてきました。

テンプルの入り口の上に書かれたバデ・バーバの象徴的な教えは、「心はすべての聖地の中心である。そこへ行き、歩き回りなさい」です。



スワミ・ジが話した後、サツツァングの参加者たちは瞑想をし、それからアーラティー、「ジョータ・セー・ジョータ・ジャガーオー」を歌いました。アーラティーに続いて、スワミ・ジは再び話しました。

私たち皆が「ジョータ・セー・ジョータ・ジャガーオー」を歌い、プージャーリーがアーラティーのランプを揺らした時、太鼓を打つ音やさまざまな楽器——ほら貝、シンバル、ベル、シェーカー、ダマル——の音が聞こえました。

シッダ・ヨーガの道では、私たちはさまざまな楽しい音を作るために、多くの楽器を使用します。これらの音は普遍的なシャクティと恩恵を呼び起こします。これらの音にはとても多くの効果があります。インドの首相、ナレーンドラ・モディ氏は、COVID-19 の拡大を食い止め、その影響を克服するための世界的な闘いに、3月22日の指定された時間にインド中の人々が鍋やフライパンを10分間たたきよう要請しました。その理由は二つありました。一つの理由は、最前線の医療従事者に支援と感謝の気持ちを示すことでした。二つ目は、人々が作り出した音の振動が、望まない負のエネルギーを取り除くのに役立つということでした。

このことを知った時、私はバーバ・ムクターナンダの音に関する言葉についてグルマーイが話したことを思い出しました。バーバはかつて、「アーラティーの間…ダマルを演奏し、ドラムを演奏し、ほら貝を吹く。それらの楽器の音はマインドの最も霊妙な部分に達する」と言いました。そして、特にドラムの音について、バーバは薬が届かない心臓の最も内側の分子に達すると言いました。

私はこのツアーを欧州の北部、西部、東部で楽しむことができました。

シッダ・ヨーガのサーダナーを行うことで、あなたが人生の目標を見つける方法について多くの知識を身に付けたと願っています。

あなたは何者かということへのグルマーイの愛と感謝を感じたと願っています。

この不安な時期に、グルマリーのメッセージ、「アートマー・キー・プラシャーンティ 大いなる自己の平安」は、あなたのよりどころだと気づいたと願っています。

アースデー50周年を記念して、そして、あなたたちの国のグルマリーのマハーヤートラの25周年を記念して、私たちは祝ってきました。

シッダ・ヨーガのサーダナーを続けたいという私たちの深い切望があるがゆえに、グルマリーは、シッダ・ヨーガ・ユニバーサルホールでの「テンプルの中にいなさい」のサツツァングで、私たちを祝福してきました。

間もなく、シッダ・ヨーガ・ユニバーサルホールを去ります。しかし、私はあなたに一つの助言を残しておきたいと思います——それは、「2020年のグルマリーのメッセージに関するワークブック」に取り組むことです。メッセージに関するワークブックでは、毎週グルマリーから直接質問を受け取り、それらの質問を熟考し、取り組むための多くのさまざまな創造的方法を受け取ります——それによって、私たちはグルマリーの2020年のメッセージの理解を深め、成長することができるようでしょう。「アートマー・キー・プラシャーンティ 大いなる自己の平安」

ワークブックは私にとって、一年を通して、毎週グルマリーのメッセージを何よりも大切に、マインドにとどめておくのに役立ちます。そして、これが私にとっての要石、賢者の石で——大いなる自己の平安とつなげてくれるものです。学びの最中に、新たな洞察が生まれます。私が大いなる自己とつながる時の、エネルギーに満ちた瞬間です。それから、私が抱いていた心配や混乱が一掃され、私のマインドはリセットされ——大いなる自己の英知に同調します。それは魔法の瞬間、恩恵の瞬間です。

私たちは幸運にも、シッダのユニバーサルホールでのサツツァングの場にいました。そしてこれは何と神聖なサツツァングだったのでしょうか。

テンプルの中にいなさい——バデ・バーバと共に。

テンプルの中にいなさい——グルマーイと共に。

ありがとうございます、グルマーイ。

ありがとうございます、バーバ・ムクターナンダ。

ありがとうございます、バデ・バーバ。

